

第 2 次加須市水道ビジョン進捗状況



令和 7 年 8 月

加須市上下水道部水道課

第2次加須市水道ビジョン 施策体系

将来像に掲げた「将来にわたり安全な加須の水の安定供給」を実現するための取り組みとして、これまで取り組んできた方策並びに成果を踏まえつつ、3つの基本目標の下に、11の方策の柱を立て、32の実現方策を体系化しています。

基本理念 『将来にわたり安全な加須の水の安定供給』

基本理念	基本目標	方策の柱	実現方策
将来にわたり安全な加須の水の安定供給	安全 安心して 飲める水道	水質管理体制の充実	水質検査計画の策定
			水質検査の徹底
			水安全計画の策定
		水源の適正管理	地下水の適正管理
			県水との二元取水の継続
		水質の適正化	管路洗管作業の実施
			貯水槽水道適正管理の促進
	強靱 安定供給 する水道	水道施設の耐震化	管路の耐震化
			施設の耐震化
		災害対策の充実	危機管理対策の強化
			危機管理マニュアルの充実
			応急給水の充実
			災害用資器材の充実
			浄水場等の水害対策
		安定供給の確保	石綿セメント管の更新
			水圧不足の解消
			老朽化した管路の更新
			配水管路の充実
	持続 将来にわた る安定経営	浄水場の適正管理	浄水場設備維持管理の徹底
			水道施設情報システムの整備
			点検・修繕計画の策定
			計画的な統廃合
			施設能力等の適正化
		人材の育成	技術水準の維持・向上
			技術の継承
		健全経営の確立	健全な経営の継続
			多様な連携による経営の効率化
			漏水調査の実施
			アセットマネジメント計画の策定
		市民サービスの向上	利便性の向上
			情報提供の充実
		環境負荷の軽減	環境に配慮した水道事業の運営

1 計画の位置付け

本市の水道事業は、平成 22 年（2010）3 月の 1 市 3 町合併後の平成 25 年（2013）4 月に、4 つの水道事業を統合し加須市水道事業を創設しました。新たな水道事業の経営に当たり、水道の目指すべき基本理念を示した「加須市水道ビジョン」（以下、「第 1 次加須市水道ビジョン」とする。）を平成 25 年（2013）3 月に策定し、フォローアップとして平成 30 年（2018）2 月に改訂を行い、「未来へつなぐ 安心・安全 加須の水」の実現に向け各種事業に取り組んできたところです。

しかしながら、人口減少に伴う水需要の減少、水道施設の老朽化及び人材不足、さらには頻発する自然災害や感染症流行等、水道を取り巻く状況が急速に変化するなかで、本市の水道事業運営は厳しさを増している状況です。

こうしたなか、現在の水道事業の水準を将来的にも維持・向上させるとともに、今後増加する新たな課題や多様化する市民ニーズに的確かつ柔軟に対応するためには、効果的で効率的な水道事業運営の推進と将来を見据えた持続可能で安定的な水道の基盤強化の構築が引き続き求められています。

本市を取り巻く状況や課題に対応するとともに、「第 1 次加須市水道ビジョン」を継承しつつ、これまでに取り組んできた実現方策並びに成果を踏まえ、中長期的な視点から、より計画的かつ合理的な健全経営の継続を目指し、水道の基盤強化を図るため「第 2 次加須市水道ビジョン」を策定しました。

2 評価方法

各取組における評価の基準は、実施状況及び取組実施による効果としての成果指標の達成状況による評価とした。

（１）成果指標として目標となる数値がある場合については、以下の 4 区分において評価を行った（成果指標が年々下がる目標値は除く）。

評 価		達成度評価基準
1	目標を達成	当該年度に実施すべき取組みを予定通り、計画的に行い、事業実施による効果が表れた。 「効果が表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の 100% 以上に達し、当該年度の目標を達成した。
2	概ね達成	当該年度に実施すべき取組みを円滑に行い、事業実施による効果が概ね表れた。 「効果が概ね表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の 80% 以上に達したものをいう。
3	やや遅れている	当該年度に実施すべき取組みを行ったものの、事業実施による効果が小さかった。 「効果が小さかった」とは、成果指標の実績値が目標値の 80% 未満となったものをいう。
4	大幅に遅れている	何らかの課題があり、事務事業が滞ってしまっており、事業実施による効果が表れなかった。 「効果が表れなかった」とは、成果指標の実績値が目標値の 50% 未満となったものをいう。

(2) 上記(1)のうち、成果指標の数値が年々下がる目標値の場合については、以下の3区分において評価を行った。

評 価		達成度評価基準
1	目標を達成	目標値を達成している場合
3	やや遅れている	目標値を超えている場合
4	大幅に遅れている	

(3) 成果指標の数値設定がない場合については、実施状況等から勘案した評価によるものとし、「2 概ね達成」以下の3区分において評価を行った。

評 価		達成度評価基準
2	概ね達成	当該年度に実施すべき取組みを円滑に行えた。
3	やや遅れている	当該年度に実施すべき取組みのうち、いくつか遅れが生じている。
4	大幅に遅れている	何らかの課題があり、事務事業が滞ってしまっている。

3 令和6年度 評価結果の概要

前頁の評価区分ごとの項目数、割合は次のとおり

<評価区分ごとの項目数等> 取組項目数：全 25 項目－4 項目＝21 項目

※評価年度（令和6年度）に指標値等がない項目：4 項目（No. 2、11、15、22）は含まない。

基本理念		方策の柱	実現方策数	1 目標を達成	2 概ね達成	3 やや遅れている	4 大幅に遅れている
安全	安心して飲める水道	水質管理体制の充実 水源の適正管理 水質の適正化	4	3	1	0	0
強靱	安定供給する水道	水道施設の耐震化 災害対策の充実 安定供給の確保	6	3	3	0	0
持続	将来にわたる安定経営	浄水場の適正管理 人材の育成 健全経営の確立 市民サービスの向上 環境負荷の軽減	11	2	7	1	1
合 計			21	8	11	1	1
割 合			100.0%	38.1%	52.4%	4.8%	4.8%

■第2次加須市水道ビジョン 令和6年度取組結果 評価（達成度）一覧表

基本理念	基本目標		方策の柱	No.	実現方策	令和6年度評価
将来にわたり安全な加須の水の安定供給	安全	安心して飲める水道	水質管理体制の充実	1	水質検査計画の策定	1 目標を達成
					水質検査の徹底	
				2	水安全計画の策定	－
			水源の適正管理	3	地下水の適正管理 県水との二元取水の継続	1 目標を達成
			水質の適正化	4	管路洗管作業の実施	1 目標を達成
				5	貯水槽水道適正管理の促進	2 概ね達成
	強靱	安定供給する水道	水道施設の耐震化	6	管路の耐震化	1 目標を達成
				7	施設の耐震化	1 目標を達成
			災害対策の充実	8	危機管理対策の強化	2 概ね達成
					危機管理マニュアルの充実	
					応急給水の充実	
					災害用資器材の充実	
			安定供給の確保		浄水場等の水害対策	
					9 石綿セメント管の更新	1 目標を達成
					10 水圧不足の解消	2 概ね達成
					11 老朽化した管路の更新	－
					12 配水管路の充実	2 概ね達成
	持続	将来にわたる安定経営	浄水場の適正管理	13	浄水場設備維持管理の徹底	2 概ね達成
				14	水道施設情報システムの整備	3 やや遅れている
				15	点検・修繕計画の策定	－
				16	計画的な統廃合 施設能力等の適正化	1 目標を達成
			人材の育成	17	技術水準の維持・向上	1 目標を達成
				18	技術の継承	2 概ね達成
			健全経営の確立	19	健全な経営の継続	2 概ね達成
				20	多様な連携による経営の効率化	2 概ね達成
				21	漏水調査の実施	2 概ね達成
				22	アセットマネジメント計画の策定	－
			市民サービスの向上	23	利便性の向上	2 概ね達成
				24	情報提供の充実	4 大幅に遅れている
			環境負荷の軽減	25	環境に配慮した水道事業の運営	2 概ね達成

4 令和6年度決算概要

(1) 水道事業会計の仕組み

水道事業は、税金ではなく市民のみなさまからいただいた水道料金で事業を行う「独立採算制」で経営しており、地方公営企業法に基づき「収益的収支」と「資本的収支」に分けて決算しています。

「収益的収支」は、水道料金収入により水を作りみなさんのご家庭まで水を送るための維持管理費と料金徴収などの経常的経費です。

「資本的収支」は、国からの借入金や補助金により水道管や浄水場などの水道施設の整備・更新費などの投資的経費です。収益的収支で得た利益を資金として水道施設の整備を行っていくというのが、水道事業経営の基本的な仕組みです。

(2) 業 務

【基本業務量】

項 目		令和5年度	令和6年度	前年増減	摘 要
給 水 件 数	件	50,414	50,878	464	核家族化による増
年間総配水量	m ³	15,355,068	15,243,374	△111,694	人口減、節水機器普及、意識向上による減少
受 水	m ³	11,178,815	11,170,771	△8,044	配水量減に伴う減
地 下 水	m ³	4,176,253	4,072,603	△103,650	配水量減に伴う減
1 日最大給水量	m ³	46,321	44,753	△1,568	人口減等に伴う減
1 日平均給水量	m ³	41,954	41,763	△191	人口減等に伴う減
年間総有収水量	m ³	13,148,019	13,038,332	△109,687	人口減、節水機器普及、意識向上による減少
有 収 率	%	85.63%	85.53%	△0.10%	
料金収入(税抜)	円	2,082,074,424	2,154,474,464	72,400,040	基本料金免除期間の減(6→2ヶ月)に伴う増
免除額含む	円	2,236,190,479	2,206,607,400	△29,583,079	有収水量減による収入減
電気料金(動力費)	円	116,301,808	124,403,685	8,101,877	電気料金高騰による増
純利益	円	260,740,879	238,414,628	△22,326,251	収益減及び動力費増
行政人口	人	112,115	111,840	△275	人口減

有収率は、年間総配水量に対する年間総有収水量の割合であり、総配水量に対し有収水量が低い理由としては配水管等での漏水が原因と考えられます。

有収水量は、人口の減少、節水意識の高まり、節水機器の普及などにより減少傾向です。

なお、料金収入は、基本料金免除(物価高騰対策)期間が4か月減ったため増加しています。

(3) 主な事業等

○水道施設統廃合計画

○石綿セメント管更新工事 ※4.2 km解消

【石綿セメント管残存状況】					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
残延長 (廃止延長)	61.9 km (2.6 km)	59.6 km (2.8 km)	56.2 km (3.4 km)	52.8 km (3.4 km)	48.6 km (4.2 km)
整備延長	2.4 km	2.3 km	3.2 km	2.4 km	4.4 km

○水圧不足等対策事業 ※49 戸解消

○久下浄水場場内整備工事(R7 繰越)

○大利根第2・第3浄水場監視制御設備更新工事(R6～R7)

○水道管洗管作業(騎西地域最終年)

○漏水調査委託

○水道基本料金免除(2ヶ月間実施、R7.2～3月)

【基本料金免除】							
年度	免除月	月数	免除件数 (件)	免除額 (円)	一般会計繰出金 (円)	適用	回数
R2	R2.5～8	4ヶ月	96,741	98,534,323	0	内部留保資金	1回
	R2.9～R3.3	7ヶ月	168,180	171,211,227	177,800,000	コロナ	
R3	R3.4	1ヶ月	26,489	27,074,467	25,400,000	コロナ	
R4	R4.11～R5.2	4ヶ月	99,714	101,752,997	102,000,000		2回
R5	R5.7～R5.10	4ヶ月	100,538	102,674,659	103,000,000	物価高騰	3回
	R6.1～R6.2	2ヶ月	50,345	51,411,396	52,000,000	物価高騰	4回
R6	R7.2～R7.3	2ヶ月	51,086	52,132,936	52,000,000	物価高騰	5回
R7	R7.4～R7.5	2ヶ月	51,172	52,200,005	52,000,000	物価高騰	
総合計		26ヶ月	644,265	656,992,010	564,200,000		

(4) 収益的収支（水道水を作り届けるための収支）

収益的収支とは、水道水をつくり家庭などに送り届けるために必要な支出と、その財源となる水道料金などの収入です。

水道事業は、水道料金(水道料金、加入分担金)で経営しています。

【①収益的収入（損益計算書）（税抜）】

(単位：円)

内 容	令和 5 年度	令和 6 年度	摘 要
水道料金等収入	2,244,734,424	2,323,374,464	基本料金免除期間短縮(6→2 ヶ月)による増 ※水道料金、加入分担金
他会計負担金	155,000,000	52,983,863	基本料金免除に伴う一般会計繰入金(52,000 千円) 給水車派遣に伴う補助金(983,863 円)
長期前受金戻入	159,857,461	160,346,181	
物件補償費 (その他雑収益)	8,397,770	0	道路拡幅に伴う久下浄水場補償費の減
保 険 金 (その他雑収益)	1,998,284	0	北川辺中央浄水場雷被害に伴う補償費の減
そ の 他	62,929,816	65,606,944	下水・農集使用料徴収負担金、消火栓負担金など
合 計	2,632,917,755	2,602,311,452	

他会計負担金は、水道基本料金免除による減収分相当額を一般会計から繰り入れています。

長期前受金戻入は、施設整備費のうち国などの補助金について、施設が使える年数で割りその施設の 1 年分の収入を計算したものです。

【②収益的支出（損益計算書）（税抜）】

(単位：円)

内 容	令和 5 年度	令和 6 年度	摘 要
維持管理費	1,435,732,762	1,450,448,276	動力費の増、メーター交換数の増 ※受水費(県水)を含む
支払利息	87,665,847	79,561,791	
減価償却費等	843,783,917	829,702,346	※ 減価償却費及び固定資産除却費
そ の 他	4,994,350	4,184,411	受託工事費の減 ※受託工事費など
合 計	2,372,176,876	2,363,896,824	

維持管理費は地下水をきれいにする浄水場や、水道水を各家庭に配水する浄水場の電気代や薬品費、水道の仕事をしている職員の給料となっています。

支払利息は、国の機関などから借り入れたお金の利息となっています。

減価償却費は、浄水場や水道管などの施設建設費について、施設が使える年数で割りその施設の 1 年分の支出を計算したものです。

【③純 利 益】

(単位：円)

	令和 5 年度	令和 6 年度	増 減
収入－支出＝純利益	260,740,879 円	238,414,628 円	△22,326,251 円

人口減などによる収益減や減加入分担金の減などの影響により、純利益は減少しています。

また、経営状況は動力費の増加などに伴い大変厳しい状況にあるとともに、令和 8 年度から県水受水費が 21%増加し約 1 億 4,500 万円の支出増となることが見込まれ、純利益は今後さらに減少することが考えられます。

（５）資本的収支（水道施設を整備するための収支）

資本的収支とは、浄水場や水道管路などの水道施設の建設や改良などの支出と、その財源となる企業債収入などです。

【①資本的収入（損益計算書に載っていない収入）（税抜）】

（単位：円）

内 容	令和 5 年度	令和 6 年度	摘 要
借金の借入	309,700,000	326,500,000	工事費増に伴う起債の借入増
負 担 金	6,150,000	11,120,000	野中地区工事の増(令和 5 年度なし) ※ 消火栓新設及び野中地区工事に係る負担金
固定資産売却代金	3,710,024	0	土地売却益(帳簿価格)が無くなったことによる減
合 計	319,560,024	337,620,000	

借金の借入は、建設工事に充てるため国の機関から借り入れたお金であり、建設工事の増加に伴い前年に比較し 1,700 万円借入を増やしています。

負担金は、加須市の行う消火栓の設置や、野中土地区画整理事業区域内の管路整備の費用（φ100 以下について 1/2 を一般会計及び野中特会が負担）となっています。

【②資本的支出（損益計算書に乗っていない支出）（税抜）】

（単位：円）

内 容	令和 5 年度	令和 6 年度	摘 要
建設改良費	436,130,220	660,873,550	石綿セメント管更新工事及び浄水場場内整備工事(R5 繰越)の増
借金の返済	610,094,925	620,558,144	
そ の 他	32,193,506	32,825,153	※ 人件費、燃料費、保険料、貯蔵品など
合 計	1,078,418,651	1,314,256,847	

建設改良費は、施設の建設費（工事費、委託費、修繕費）に約 6 億 6 千万円であり前年度に比較し約 2 億 4 千万円増加しています。

【③資本的収支不足額(税抜)】

	令和 5 年度	令和 6 年度
資本的収入－資本的支出	△758,858,627 円	△976,636,847 円

不足額については、損益勘定留保資金や建設改良積立金で補填しています。

(6) 内部留保資金

内部留保資金は今後の建設費や赤字ができた時に補填するお金として使用することができるものです。

資本的収支の赤字について、損益勘定留保資金(損益計算書の純利益のほか実際に支出のない減価償却費及び固定資産除却費)から、実際に収入のない長期前受金戻入を差し引いた金額で賄うことができるかを確認します。

【算 出】	
「資本的収入－資本的支出」の赤字額	－ 976,636,847 円
純利益（黒字額）	＋ 238,414,628 円
損益計算書で支出したけど使えるお金（減価償却費分）	＋ 809,825,908 円
〃 （固定資産除却費）	＋ 19,876,438 円
損益計算書で収入としたけど使えないお金（長期前受金戻入分）	） <u>－ 160,346,181 円</u>
	－ 68,866,054 円

内部留保資金は約 6 千 9 百万円のマイナスになり、令和 6 年度末は 2,906,888,429 円になります。

【内部留保資金の動き(税抜)】					(単位：円)
年 度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
内部留保資金	2,680,025,996	2,789,945,775	2,975,754,483	2,906,888,429	
令和 5 年度までは内部留保資金は増加していましたが、令和 6 年度は石綿セメント管更新工事及び久下浄水場場内整備工事(R5 繰越)が増加し 4 条の支出が増加したため、約 6 千 9 百万円減少し約 29 億円となっています。 内部留保資金は、一般的に給水収益程度(約 20 億円)の確保が望ましいと言われています。					

5 実 施 状 況

第2次加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 1 安心して飲める水道（安全）

方策の柱 1 水質管理体制の充実

実現方策 ①水質検査計画の策定、②水質検査の徹底

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
1	・水質検査計画の策定 ・水質検査の徹底	1 目標を達成	指標(単位)	水質検査計画の策定 (回/年)						・安全な水道水を供給できるよう、検査内容の見直しを行い、必要な検査の実施に努める。
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)		
			目標	1	1	1	1	1		
			実績	1	1					
			指標(単位)	水質基準の不適合率 (水質基準不適合回数/全検査回数) × 100 (%)						
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)		
			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・水道水の水質を適正に管理するため、水質検査計画を策定した。 ・水道法で定める基準に適合した安全な水道水を市民に供給することができた。							

令和 6 年度 水質検査結果一覧表

浄水場系統			久下浄水場	騎西浄水場	北川辺中央浄水場	大利根第3浄水場
No	項 目	基 準 値	—	—	—	—
1	一般細菌	100個/ml 以下	0	0	0	0
2	大腸菌	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出
3	カドミウム及びその化合物	0.003 mg/l 以下	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満
4	水銀及びその化合物	0.0005 mg/l 以下	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満
5	セレン及びその化合物	0.01 mg/l 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
6	鉛及びその化合物	0.01 mg/l 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
7	ヒ素及びその化合物	0.01 mg/l 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
8	六価クロム化合物	0.02 mg/l 以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
9	亜硝酸態窒素	0.04 mg/l 以下	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満
10	亜硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0.01 mg/l 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10 mg/l 以下	0.8	1.3	1.3	1.1
12	フッ素及びその化合物	0.8 mg/l 以下	0.11	0.09	0.10	0.12
13	ホウ素及びその化合物	1.0 mg/l 以下	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満
14	四塩化炭素	0.002 mg/l 以下	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
15	1,4-ジオキサン	0.05 mg/l 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/l 以下	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満
17	ジクロロメタン	0.02 mg/l 以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
18	テトラクロロエチレン	0.01 mg/l 以下	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
19	トリクロロエチレン	0.01 mg/l 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
20	ベンゼン	0.01 mg/l 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
21	塩素酸	0.6 mg/l 以下	0.10	0.08	0.06 未満	0.06 未満
22	クロロ酢酸	0.02 mg/l 以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
23	クロロホルム	0.06 mg/l 以下	0.020	0.020	0.015	0.020
24	ジクロロ酢酸	0.03 mg/l 以下	0.009	0.011	0.009	0.004
25	ジブromクロロメタン	0.1 mg/l 以下	0.038	0.014	0.012	0.005
26	臭素酸	0.01 mg/l 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
27	総トリハロメタン	0.1 mg/l 以下	0.096	0.054	0.043	0.036
28	トリクロロ酢酸	0.03 mg/l 以下	0.010	0.012	0.009	0.005
29	ブromジクロロメタン	0.03 mg/l 以下	0.023	0.016	0.013	0.011
30	ブromホルム	0.09 mg/l 以下	0.015	0.004	0.003	0.001 未満
31	ホルムアルデヒド	0.08 mg/l 以下	0.013	0.008 未満	0.009	0.009
32	亜鉛及びその化合物	1.0 mg/l 以下	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満
33	アルミニウム及びその化合物	0.2 mg/l 以下	0.03	0.02	0.02	0.06
34	鉄及びその化合物	0.3 mg/l 以下	0.01	0.01 未満	0.01 未満	0.02
35	銅及びその化合物	1.0 mg/l 以下	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満
36	ナトリウム及びその化合物	200 mg/l 以下	23.5	18.1	14.8	12.2
37	マンガン及びその化合物	0.05 mg/l 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.005
38	塩化物イオン	200 mg/l 以下	42.2	26.8	24.7	16.9
39	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	300 mg/l 以下	84	75	73	56
40	蒸発残留物	500 mg/l 以下	226	178	181	143
41	陰イオン界面活性剤	0.2 mg/l 以下	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満
42	ジェオスミン	0.00001 mg/l 以下	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満
43	2-メチルイソボルネオール	0.00001 mg/l 以下	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満
44	非イオン界面活性剤	0.02 mg/l 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
45	フェノール類	0.005 mg/l 以下	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
46	有機物（全有機炭素(TOC)の量）	3 mg/l 以下	0.8	1.0	0.7	0.8
47	pH 値	5.8 以上 8.6 以下	7.4	7.5	7.7	7.2
48	味	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
49	臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
50	色度	5 度以下	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.8
51	濁度	2 度以下	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満

PFAS 及び PFOA	50ng/L 未満	定量下限値未満	定量下限値未満	定量下限値未満	定量下限値未満
--------------	-----------	---------	---------	---------	---------

※※定量下限値未満とは、計測機器で測定できる限界値（5ng/L）未満であることを表します。

第2次加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 1 安心して飲める水道（安全）

方策の柱 1 水質管理体制の充実

実現方策 ③水安全計画の策定

【評価】は3段階評価（2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
2	・水安全計画 の策定	—	指標(単位)	水安全計画の策定					
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)	
			目標	—	—	—	策定	運用	
			実績	—	—	—			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ※評価年度（令和6年度）ではないため、該当なし						

加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 1 安心して飲める水道（安全）

方策の柱 2 水源の適正管理

実現方策 ①地下水の適正管理、②県水との二元取水の継続

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
3	・地下水の適 正管理 ・県水との二 元取水の継続	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	地下水の過剰揚水の抑制						・水道水の安定供給確保の ため、県水と地下水の二元 水源の継続確保と地下水の 適正管理（県水7：地下水 3）に努める。
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)		
			目標	実施	実施	実施	実施	実施		
			実績	実施	実施					
			指標(単位)	県水受水率：（県水受水量/（県水受水量＋地 下水取水量））×100（％）						
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)		
			目標	70	70	70	70	70		
			実績	70.2	70.8					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・地下水の過剰採取は、地盤沈下等につながることから、揚水量及び 地下水位の変動を流量計及び水位計により常時測定し、過剰採取によ る水位の低下がないか監視した。 ・本市の水道水源は、県水と自己水（深井戸）の二元水源であり、県 水と地下水の割合を概ね7:3に維持した。							

実施状況報告書

1 安心して飲める水道 — 2 水源の適正管理

① 地下水の適正管理

令和6年度の実施状況

【県水と地下水の状況について】（令和6年度実績）

（単位：m³）

	県水受水量	地下水取水量	計
合 計	11,170,761 (70.8%)	4,613,838 (29.2%)	15,784,599 (100.0%)

加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 1 安心して飲める水道（安全）

方策の柱 3 水質の適正化

実現方策 ①管路洗管作業の実施

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
4	・管路洗管作 業の実施	1 目標を 達成	指標(単位)	洗管作業の実施 (ブロック/年)						・消火活動や工事などによる濁り水を発生させないため、継続的に洗管作業を進めていく必要があり、管路内の状況や濁り水の発生状況を勘案し、令和7年度から大利根地域の洗管作業を実施する。 ・実施期間 令和7年度から令和11年度
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)		
			目標	1	1	1	1	1		
			実績	1	1					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・騎西地域の洗管作業が令和6年度で全て完了した。							
			・これまでの洗管実施状況 加須H13～H23 大利根H26～H28 北川辺H30・R1 騎西R2～R6							

加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 1 安心して飲める水道（安全）

方策の柱 3 水質の適正化

実現方策 ②貯水槽水道適正管理の促進

【評価】は3段階評価（2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
5	・貯水槽水道 適正管理の促 進	2 概ね 達成	指標(単位)	貯水槽水道設置者の情報提供						・新規の貯水槽水道の設置 や管理が適正に実施される よう、継続して指導等を 行っていく。
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)		
			目標	実施	実施	実施	実施	実施		
			実績	実施	実施					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・環境政策課及び埼玉県と貯水槽水道設置者の情報共有を行った。							

第2次加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 2 安定供給する水道（強靱）

方策の柱 1 水道施設の耐震化

実現方策 ①管路の耐震化

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
6	・管路の耐震化	1 目標を達成	指標(単位)	基幹管路の耐震化率 (耐震管延長/管路総延長) × 100 (%)						・令和6年度に策定した上下水道耐震化計画及び令和7年度に策定する管路更新計画に基づき、管路の耐震化を進める。
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)		
			目標	23.6	23.9	24.2	24.5	24.8		
			実績	23.9	24.6					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・石綿セメント管更新工事などにより、基幹管路の耐震化を1,755m実施し目標としていた基幹管路の耐震化率を達成することができた。							

実施状況報告書

2 安定供給する水道 — 1 水道施設の耐震化

① 基幹管路の耐震化

令和6年度の実施状況				
・基幹管路の耐震化事業の状況（令和6年度末）				（単位：m）
	基幹管路 総延長①	耐震性のある 基幹管路延長②	耐震性のない 基幹管路延長	耐震適合性 の割合②/①
加須地域	130,097	13,261	116,836	10.2%
騎西地域	93,099	38,916	54,184	41.8%
北川辺地域	26,657	7,411	19,247	27.8%
大利根地域	44,125	12,586	31,539	28.5%
合 計	293,979	72,174	221,806	24.6%

※基幹管路とは、口径 150 mm以上の配水管、送水管及び導水管を指す。

第2次加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 2 安定供給する水道（強靱）

方策の柱 1 水道施設の耐震化

実現方策 ②施設の耐震化

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
7	・施設（浄水施設）の耐震化 ・施設（配水池）の耐震化	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	浄水場耐震化率：（耐震補強を実施した浄水場施設能力/全浄水場施設能力）×100					(%)	・令和6年度に策定した水道施設統廃合計画に基づき、施設の耐震化を進める。
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)		
			目標	21.7	21.7	21.7	21.7	21.7		
			実績	21.7	21.7					
			指標(単位)	配水池耐震化率：（耐震補強を実施した配水池容量/全配水池容量）×100					(%)	
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)		
			目標	51.5	51.5	51.5	51.5	51.5		
			実績	51.6	51.6					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・令和3年度までに久下浄水場の監視棟、上水道管理センターの耐震化が完了し、令和5年度に久下浄水場の非耐震建築物である旧ポンプ場の解体・撤去が完了した。 ・浄水場の統廃合に合わせて配水池の耐震化を進める。							

実施状況報告書

【浄水場施設の耐震診断結果】

水道ビジョンに基づき、平成 25 年度から実施していた浄水場施設の耐震診断が、平成 27 年度に完了した。結果は、下表のとおりである。今後、耐震補強等については、浄水場統廃合更新に併せ計画的に実施する。

施設名称		レベル1 地震動				レベル2 地震動			
		底 版	頂 版	壁	杭基礎	底 版	頂 版	壁	杭基礎
久下	PC 配水池	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK
	ポンプ井	NG	NG	OK	OK	NG	NG	OK	NG
	監視棟					NG			NG
睦町	PC 配水池	OK	OK	OK	OK	NG	OK	OK	OK
	着水井	NG	NG	NG	NG	NG	NG	NG	NG
	混和池、ろ過ポンプ井	NG	NG	NG	NG	NG	NG	NG	NG
	管理棟					OK			NG
加須北部	PC 配水池	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK
	着水井、混和池	NG	NG	NG	NG	NG	NG	NG	NG
	管理棟					NG			NG
騎西第1	着水井	NG	NG	OK	NG	NG	NG	OK	NG
	混和池、ろ過ポンプ井	NG	NG	OK	NG	NG	NG	OK	NG
	管理棟					NG			NG
騎西第2	PC 配水池 No. 1	OK	OK	OK	OK	NG	OK	OK	NG
	PC 配水池 No. 2	OK	OK	OK	OK	NG	OK	OK	NG
	管理棟					OK			NG
	ポンプ棟					OK			NG
北川辺中央	PC 配水池 No. 1	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	NG
	PC 配水池 No. 2	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK
	ポンプ井	OK	OK	OK	OK	NG	OK	NG	NG
	管理棟					NG			NG
大利根第2	旧管理棟					NG			NG
	監視棟					OK			NG
	薬注棟					OK			NG
大利根第3	PC 配水池 No. 1	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK
	PC 配水池 No. 2	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK
	混和池	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	NG
	1系管理棟					OK			OK
	2系管理棟					OK			NG

OK：耐震性・適合、NG：耐震性・不適合

- ・レベル1 地震動：水道施設の耐震診断に用いた設計地震動で、震度5弱程度の比較的発生頻度が高い地震。
被害が生じないことを目標とする。
- ・レベル2 地震動：震度6強以上で、対象地点において最大級の地震。
施設の機能を保持することを目標とする。建築物では大地震と呼ばれ人命を守ることを目標とする。

第2次加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 2 安定供給する水道（強靱）

方策の柱 2 災害対策の充実

実現方策 ①危機管理対策の強化、②危機管理マニュアルの充実、③応急給水の充実、

④災害用資器材の充実、⑤浄水場等の水害対策

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
8	・危機管理対策の強化/応急給水の充実	2 概 ね 達 成	指標(単位)	応急給水訓練の実施 (回/年)						・職員の応援配水要請方法及び水道施設の操作手順の確認のため、定期的な操作訓練を実施する。
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)		
			目標	4	4	4	4	4		
			実績	5	5					
	指標(単位)		緊急時連絡管送水訓練の実施 (回/年)							
	年度		R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)			
	目標		1	1	1	1	1			
	実績		0	1						
	指標(単位)		自然災害、水質汚染事故等のマニュアルの充実							
	年度		R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)			
	目標		実施	実施	実施	実施	実施			
	実績		実施	実施						
	指標(単位)		災害用資器材の保守点検の実施							
	年度		R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)			
	目標		実施	実施	実施	実施	実施			
	実績		実施	実施						
	指標(単位)		浄水施設の工事に合わせた浸水対策の実施							
年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)					
目標	実施	実施	実施	実施	実施					
実績	－	－								
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・水道課職員による応急給水訓練の実施及び地区防災訓練に参加した。 ・緊急時連絡管送水訓練を3箇所で行った。 ・危機管理マニュアルを適宜見直した。 ・災害用資器材の点検を実施した。 ・浸水対策については、浄水場の更新工事等が無かったため該当なし。										

2 安定供給する水道 ― 2 災害対策の充実

① 危機管理マニュアルの充実、③ 応急給水の充実

令和 6 年度の実施状況

【給水訓練実施状況】

本訓練の目的は、緊急時に必要となる飲料水を迅速かつ適切に供給できる体制の確保を図る。

実施回数	実施日	実施場所	訓練内容
第 1 回	令和 6 年 5 月 2 日	水道課	・水道課職員による緊急時用給水装置や給水車の操作訓練を実施
第 2 回	令和 6 年 5 月 26 日	礼羽小学校	・地区防災訓練に参加
第 3 回	令和 6 年 10 月 5 日	原道小学校	・地区防災訓練に参加
第 4 回	令和 6 年 11 月 24 日	北川辺西小学校	・地区防災訓練に参加
第 5 回	令和 6 年 12 月 15 日	三俣小学校	・地区防災訓練に参加

加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 2 安定供給する水道（強靱）

方策の柱 3 安定供給の確保

実現方策 ①石綿セメント管の更新

【評価】は3段階評価（2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
9	・石綿セメント管の更新	1 目標を達成	指標(単位)	石綿セメント管の残存延長 (km)					・耐震性の低い石綿セメント管については、残存延長が県内ワーストワンであることから、更新を加速化させ早期解消に努める。
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)	
			目標	54.4	51.9	49.4	44.4	41.9	
			実績	52.8	48.6				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・石綿セメント管の廃止目標である2,500mを大幅に超える4,179mを廃止した。						

実施状況報告書

2 安定供給する水道 — 3 安定供給の確保

① 石綿セメント管の更新

事業概要

【管種別布設状況】

(単位：m)

	ダクタイル 鋳鉄管	石綿セメント管	塩化ビニル管	ポリエチレン管	その他	計
加須地域	144,909	23,737	175,451	56,538	1,189	401,824
騎西地域	17,685	4,689	180,336	12,745	277	215,732
北川辺地域	23,465	15,521	49,225	11,183	227	99,622
大利根地域	50,226	4,653	74,225	21,912	1,320	152,336
合 計	236,285	48,600	479,237	102,378	3,013	869,513
比 率(%)	27.17	5.6	55.12	11.77	0.34	100.00

【参考】令和5年度石綿セメント管の加須市残存率 : 6.1% (県内で4番目に多い)

令和5年度石綿セメント管残存延長 : 52,780m (県内で1番多い)

令和6年度の実施状況

・石綿セメント管更新事業の状況（令和6年度末）

(単位：m, %)

	配水管 総延長 ①	石綿セメント管 総延長 ② (平成28年度末時点)	石綿セメント管 残延長 ③	石綿セメント管 令和6年度 廃止延長	石綿セメント管総延長 に対する 残存率 ③ / ② (平成28年度末対比)
加須地域	401,824	113,722	23,737	2,625	20.9%
騎西地域	215,732	44,980	4,689	204	10.4%
北川辺地域	99,622	34,486	15,521	775	45.0%
大利根地域	152,336	40,803	4,653	576	11.4%
合 計	869,513	233,991	48,600	4,179	20.8%

加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 2 安定供給する水道（強靱）

方策の柱 3 安定供給の確保

実現方策 ②水圧不足の解消

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
10	・水圧不足の 解消	2 概 ね 達 成	指標(単位)	旧簡易水道解消世帯数 (戸/年)					・自治会要望等において、 水圧不足改善を要望した地 域の配水管布設工事を実施 し、水圧不足世帯の早期解 消に努める。
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)	
			目標	60以上	60以上	60以上	60以上	60以上	
			実績	55	49				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・自治会要望等による水圧不足の解消するため、配水管の新規布設等 を計画どおり実施した結果、49世帯を解消した。						

加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 2 安定供給する水道（強靱）

方策の柱 3 安定供給の確保

実現方策 ③老朽化した管路の更新

【評価】は3段階評価（2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
11	・老朽化した 管路の更新	—	指標(単位)	管路更新計画の策定						
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)		
			目標	—	—	策定	運用	運用		
			実績	—	—					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ※評価年度（令和6年度）ではないため、該当なし							

加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 2 安定供給する水道（強靱）

方策の柱 3 安定供給の確保

実現方策 ④配水管路の充実

【評価】は3段階評価（2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
12	・配水管路の 充実	2 概 ね 達 成	指標(単位)	配水管の整備						・野中土地区画整理事業の 進捗に合わせて配水管の整 備を実施していく。
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)		
			目標	実施	実施	実施	実施	実施		
			実績	実施	実施					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 野中土地区画整理事業地区において、配水管を190.5m整備した。							

加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 3 将来にわたる安定経営（持続）

方策の柱 1 浄水場の適正管理

実現方策 ①浄水場設備維持管理の徹底

【評価】は3段階評価（2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
13	・浄水場設備 維持管理の徹 底	2 概 ね 達 成	指標(単位)	適切な運転管理及び修繕の徹底						・令和6年度に策定した水道施設統廃合計画に基づき、計画的に更新等を進め、安全で確実な配水に努める。
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)		
			目標	実施	実施	実施	実施	実施		
			実績	実施	実施					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・浄水場の設備の経年劣化や落雷事故による機器故障等に対して迅速に対応し、適切な運転管理による安全、確実な配水を行った。 ・老朽化した騎西浄水場監視室空調設備修繕などを行った。							

実施状況報告書

3 将来にわたる安定経営 — 1 浄水場の適正管理

① 浄水場設備維持管理の徹底

令和6年度 各浄水場の主な修繕工事一覧

（単位：円）

	工 事 名	本年度施工内容	本年度工事費	着工年月日	竣工年月日
1	騎西浄水場監視室空調設備修繕	騎西浄水場監視室空調設備修繕	1,540,000	R6.5.22	R6.7.26
2	加須北部浄水場自家発始動用蓄電池修繕	加須北部浄水場自家発始動用蓄電池修繕	2,365,000	R6.4.25	R6.7.31
3	睦町浄水場無停電電源装置用蓄電池修繕	睦町浄水場無停電電源装置用蓄電池修繕	4,400,000	R6.5.2	R6.8.23
4	大利根第3浄水場2号ろ過機原水弁修繕	大利根第3浄水場2号ろ過機原水弁修繕	1,408,000	R6.4.22	R6.9.9
5	久下浄水場ろ過機制御盤クーラー取付修繕	久下浄水場ろ過機制御盤クーラー取付修繕	1,254,000	R6.7.12	R6.9.9
6	騎西浄水場県水受水弁発信機等修繕	騎西浄水場県水受水弁発信機等修繕	1,320,000	R6.4.26	R6.9.27
7	北川辺中央浄水場No.2ろ過機用逆洗ポンプ交換修繕	北川辺中央浄水場No.2ろ過機用逆洗ポンプ交換修繕	3,300,000	R6.8.20	R6.10.18
8	大利根第3浄水場自家発始動用蓄電池修繕	大利根第3浄水場自家発始動用蓄電池修繕	1,826,000	R6.7.12	R7.2.6
9	大利根第3浄水場浄化槽修繕	大利根第3浄水場浄化槽修繕	3,179,000	R7.1.28	R7.3.28
10	北川辺中央浄水場1号ろ過機原水弁修繕	北川辺中央浄水場1号ろ過機原水弁修繕	1,166,000	R6.11.1	R7.3.26
11	その他、100万円以下の修繕工事：8件		3,148,200		
合計：18件			24,906,200		

加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 3 将来にわたる安定経営（持続）

方策の柱 1 浄水場の適正管理

実現方策 ②水道施設情報システムの整備

【評価】は3段階評価（2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
14	・水道施設情報システム（設備台帳）の整備 ・水道施設情報システム（管路台帳）の整備	3 やや遅 れてい る	指標(単位)	水道施設情報システム（設備台帳）の整備						・水道施設台帳（設備台帳、管路台帳）を最新の情報にすることで、アセットマネジメント実施時の精度向上を図る。
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)		
			目標	整備	整備	運用	運用	運用		
			実績	整備	整備					
			指標(単位)	水道施設情報システム（管路台帳）の整備 ※マッピングシステム						
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)		
			目標	更新運用	更新運用	更新運用	更新運用	更新運用		
			実績	更新運用	更新運用					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・令和6年度までに浄水場（1箇所）及び深井戸（3箇所）の水道施設台帳（設備台帳）を整備したが、全ての台帳を整備することができなかった。 ・水道施設台帳（管路台帳）の配水管布設工事及び給水台帳データを工事の進捗に合わせて更新した。							

加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 3 将来にわたる安定経営（持続）

方策の柱 1 浄水場の適正管理

実現方策 ③点検・修繕計画の策定

【評価】は3段階評価（2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
15	・点検・修繕 計画の策定	—	指標(単位)	点検・修繕計画の策定					
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)	
			目標	—	—	—	—	策定	
			実績	—	—	—	—		
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ※評価年度（令和6年度）ではないため、該当なし						

加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 3 将来にわたる安定経営（持続）
 方策の柱 1 浄水場の適正管理
 実現方策 ④計画的な統廃合、⑤施設能力等の適正化

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
16	・計画的な統 廃合/施設能 力等の適正化	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	浄水場統廃合計画の策定						・令和6年度に策定した水道施設統廃合計画と整合を図りながら施設の耐震化を推進し、計画的に事業の進捗を図る。 ・浄水場統廃合更新事業には、多額の事業費を要するため、国庫補助金等の財源の確保を図る。
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)		
			目標	策定	策定	運用	運用	運用		
			実績	策定	策定					
			指標(単位)	浄水場箇所数 (箇所)						
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)		
			目標	8箇所	8箇所	8箇所	8箇所	8箇所		
			実績	8箇所	8箇所					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・各浄水場の稼働及び改修状況などの情報収集や、統廃合の優先順位の手法等について検討し、令和6年度に水道施設統廃合計画を策定した。 ・水道施設統廃合計画に基づき、まずは令和13年度に北川辺北部浄水場を廃止する。							

加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 3 将来にわたる安定経営（持続）
 方策の柱 2 人材の育成
 実現方策 ①技術水準の維持・向上

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
17	・技術水準の 維持・向上	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	各研修会への参加回数 (回/年)					・研修の機会を捉えて、積極的に参加することで、技術や知識レベルの確保に努める。
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)	
			目標	10	10	10	10	10	
			実績	10	13				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・外部研修への積極的な参加を通じて、水道職員の技術や知識レベルの確保を図ることができた。 【外部研修の例】 ・水道基礎講座研修 ・土木技術職員研修 ・PFOS、PFOA等に関する説明会 ・資金調達入門研修 など						

加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 3 将来にわたる安定経営（持続）

方策の柱 2 人材の育成

実現方策 ②技術の継承

【評価】は3段階評価（2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
18	・技術の継承	2 概ね 達成	指標(単位)	施設管理マニュアルの充実						・浄水場施設の操作や運用、配水管施設の更新等の「施設管理マニュアル」の見直しを適宜実施する。
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)		
			目標	実施	実施	実施	実施	実施		
			実績	実施	実施					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・通常の運転管理や施設維持管理業務に加えて、事故や災害時等の不足の事態における給水を確保するために、浄水場施設の操作や運用、配水管施設の更新等の「施設管理マニュアル」の見直しを適宜実施するとともに、浄水場等の運転管理及び監視業務を担っている維持管理業者と情報共有を図った。							

加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 3 将来にわたる安定経営（持続）

方策の柱 3 健全経営の確立

実現方策 ①健全な経営の継続

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
19	・健全経営の 継続	2 概 ね 達 成	指標(単位)	水道料金回収率 (%)					・持続的で安定的な水道事業運営を行うため、経費の削減に努める。
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)	
			目標	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	
			実績	94.31	97.95				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・料金水準の妥当性を示す料金回収率が100%下回った主な理由は、物価高騰の影響を受けている市民生活の支援として、水道基本料金を2ヶ月間免除したことにより給水収益が減収したことが主な要因である。 なお、その減収分については、一般会計から他会計補助金として52,000千円を補填し水道事業運営の安定化を図った。						

加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 3 将来にわたる安定経営（持続）

方策の柱 3 健全経営の確立

実現方策 ②多様な連携による経営の効率化

【評価】は3段階評価（2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
20	・多様な連携 による経営の 効率化	2 概 ね 達 成	指標(単位)	広域連携及び官民連携の検討						・水道事業においては、給 水人口の減少、施設の老朽 化、人材不足など、多くの 問題を抱えており、これら の問題を解決する一つの方 法として、水道メーターの 共同購入などを検討する。
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)		
			目標	検討	検討	検討	検討	検討		
			実績	検討	検討					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・広域連携について、埼玉県水道広域化実施検討部会（第10ブロッ ク：行田市、羽生市、加須市）などにおいて、水道メーターの共同購 入に向けて購入方法や仕様書等のすり合わせなどの協議を行った。 ・第10ブロック検討部会（R6. 6. 26、R7. 1. 24） ・第10ブロック担当者会議（R6. 8. 15、R6. 12. 4）							

加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 3 将来にわたる安定経営（持続）

方策の柱 3 健全経営の確立

実現方策 ③漏水調査の実施

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

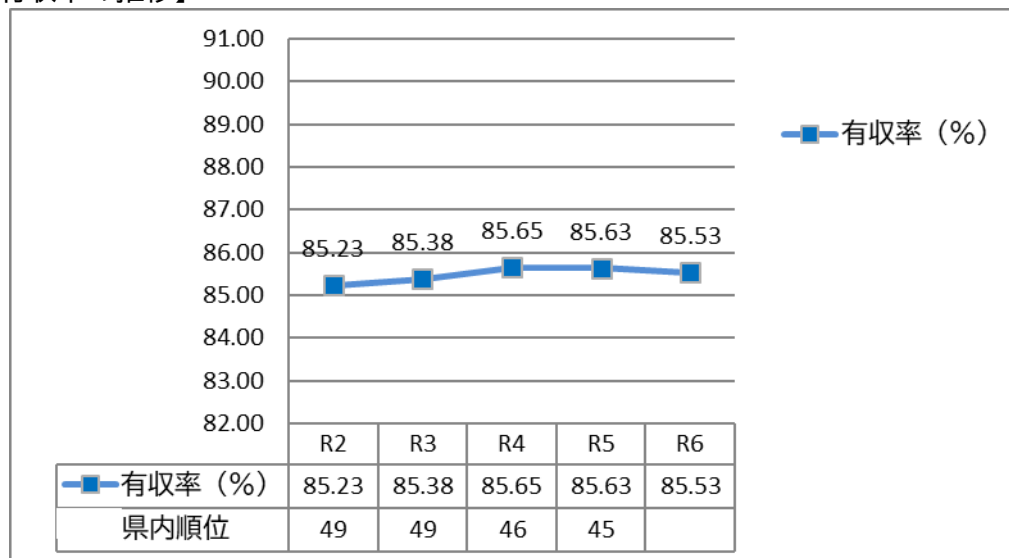
No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
21	・漏水調査の 実施	2 概 ね 達 成	指標(単位)	漏水調査実施回数 (ブロック/年)					・経営指標の1つである有収率については、埼玉県平均を下回っており、令和6年度は85.53%（前年度比△0.10ポイント）であり、令和6年度目標値も達成できていないことから、施設の稼働が更に収益につながるよう、引き続き漏水調査や老朽管の更新による有収率向上対策を講じる必要がある。 ・先進事例を参考に衛生などを活用した方法の導入などを検討し、漏水の早期発見に努める。
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)	
			目標	1	1	1	1	1	
			実績	1	1				
			指標(単位)	有収率				(%)	
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)	
			目標	86.2	87.1	88.0	89.0	90.0	
			実績	85.63	85.53				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・漏水調査を実施し、45ヶ所の漏水箇所を発見し迅速に修繕を実施した。 ・有収率の改善に向け、漏水調査や老朽管の更新などを進めた。						

3 将来にわたる安定経営 ― 1 健全経営の確立

③漏水調査の実施

令和 6 年度の実施状況

【有収率の推移】



(参考) 令和 5 年度 県内 55 団体平均 : 90.50%

【漏水調査の成果】

本管 12 ヶ所、給水管 33 ヶ所の計 45 ヶ所 漏水抑制水量 1,351 m³/日

【漏水発生件数】(令和 6 年度決算)

	本 管	給水管	量水器	その他	計
加須地域	29	110	22	56	217
騎西地域	3	10	4	5	22
北川辺地域	16	11	5	8	40
大利根地域	3	68	7	10	88
合 計	51	199	38	79	367

(参考) 令和 5 年度 : 346 件

・漏水件数 367 件発生し、加須市指定給水装置工事事業者と連携し迅速な漏水修繕に努めた。

加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 3 将来にわたる安定経営（持続）

方策の柱 3 健全経営の確立

実現方策 ④アセットマネジメント計画の策定

【評価】は3段階評価（2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
22	・アセットマ ネジメント計 画の策定	—	指標(単位)	アセットマネジメント計画の策定					
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)	
			目標	—	—	—	策定	運用	
			実績	—	—	—			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ※評価年度（令和6年度）ではないため、該当なし						

加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 3 将来にわたる安定経営（持続）

方策の柱 4 市民サービスの向上

実現方策 ①利便性の向上

【評価】は3段階評価（2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
23	・利便性の向上	2 概 ね 達 成	指標(単位)	窓口払いのキャッシュレス化						・クレジットカードなどの 他のキャッシュレス決済の 導入を検討する。
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)		
			目標	拡充運用	拡充運用	拡充運用	拡充運用	拡充運用		
			実績	拡充運用	拡充運用					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・令和5年度に、キャッシュレス決済の種類を、これまでの1種類 (PayB (ペイビー)) から6種類 (PayPay、LINEPay、auPAY、楽天銀 行、d払い、ファミペイ) を拡充し、令和6年度は継続して運用を図っ た。 ・キャッシュレス決済の利用件数は、7,655件であり、前年比2,479件 増加したことから、利便性の向上に一定の効果があつた。							

加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 3 将来にわたる安定経営（持続）

方策の柱 4 市民サービスの向上

実現方策 ②情報提供の充実

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
24	・情報提供の 充実	4 大 幅 に 遅 れ て い る	指標(単位)	水道施設見学会の実施 (団体/年)						・小学生を対象とした施設 見学会を行う等、水道への 親しみや理解を深めるため の取組みを検討する。
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)		
			目標	2	2	2	2	2		
			実績	1	0					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・久下浄水場が年間を通じて場内工事中であったため、安全面を考慮し 施設見学会の実施を見送ることとした。							

3 将来にわたる安定経営 ― 4 市民サービスの向上

① 利便性の向上

【水道料金収納区分別実績】

収納区分		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
		件 数	割合	件 数	割合	件 数	割合	件 数	割合	件 数	割合
口座振替		216,103 件	76.1%	222,879 件	76.2%	228,733 件	76.5%	224,288 件	75.5%	228,462 件	74.9%
納 付 書	銀行等	13,141 件	4.6%	12,287 件	4.2%	10,010 件	3.3%	8,907 件	3.0%	9,218 件	3.0%
	コンビニ	54,451 件	19.2%	56,590 件	19.4%	59,374 件	19.8%	58,901 件	19.8%	59,755 件	19.6%
	キャッシュレス決済	132 件	0.1%	544 件	0.2%	1,145 件	0.4%	5,176 件	1.7%	7,655 件	2.5%
合 計		283,827 件	100.0%	292,300 件	100.0%	299,262 件	100.0%	297,272 件	100.0%	305,090 件	100.0%

- ・コンビニエンスストアによる収納を、平成 25 年 4 月分から開始して以降、時間的制約を受けないコンビニの利用者は、年々増加傾向にある。
- ・キャッシュレス決済による収納について、市民の利便性の向上を図るため、令和 5 年 4 月からは、これまでの 1 種類（PayB（ペイビー））から 6 種類（PayPay、LINEPay、auPAY、楽天銀行、d 払い、ファミペイ）に拡充した。
- ・ただし、経営の視点からは、取扱手数料が口座振替による場合は 10 円に対し、コンビニ及びキャッシュレス決済による場合は 78 円であるため、水道事業としては口座振替による納付を更に推進していく。

加須市水道ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 3 将来にわたる安定経営（持続）

方策の柱 5 環境負荷の軽減

実現方策 ①環境に配慮した水道事業の運営

【評価】は3段階評価（2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
25	・環境に配慮 した水道事業 の運営	2 概 ね 達 成	指標(単位)	電気使用量 (千kwh/年)					
			年度	R5年度	R6年度 (当該年)	R7年度	R8年度	R9年度 (目標年)	
			目標	5,312	5,257	5,203	5,136	5,079	
			実績	5,427	5,206				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・配水量の減に伴い、電気使用量が減少した。						
・浄水場の改修に合わせ、 高効率ポンプや省エネ効果 の高い照明設備への更新、 適正な能力への改修等につ いて、施設更新時等に省エ ネルギー化を進める。									

水道事業における指標比較（令和5年度）

No	事業体名	有収率 (%)	順位	石綿セメント 残存延長 (m) ※R5実績	順位	石綿セメント 残存率 (%) ※R5実績	順位	10m ³ 当り料金 (13mm：円)	順位	20m ³ 当り料金 (13mm：円)	順位	現在給水人口 (人)	専従 職員数	職員1人当り 給水人口	順位
1	和光市	99.1	1	0	33	0.0	28	785	52	1,830	54	84,376	18	4,688	28
2	越谷・松伏企業団	98.0	2	1,824	18	0.1	22	1,045	36	2,805	19	370,710	105	3,531	38
3	三芳町	97.3	3	0	33	0.0	28	962	45	2,172	44	37,223	8	4,653	30
4	伊奈町	96.2	4	0	33	0.0	28	1,320	15	2,970	14	44,953	9	4,995	20
5	蕨市	95.9	5	18	32	0.0	28	990	40	2,475	30	75,907	14	5,422	14
6	入間市	95.7	6	0	33	0.0	28	1,100	33	2,420	33	144,247	29	4,974	21
7	新座市	95.6	7	0	33	0.0	28	1,155	30	2,145	45	165,896	31	5,351	15
8	所沢市	95.6	8	0	33	0.0	28	924	47	2,134	48	342,655	73	4,694	27
9	三郷市	95.3	9	7,253	9	1.2	12	770	53	2,145	45	141,935	30	4,731	25
10	富士見市	95.3	10	0	33	0.0	28	990	40	2,255	39	112,729	16	7,046	3
11	草加市	95.1	11	0	33	0.0	28	825	50	2,475	30	251,521	68	3,699	36
12	川越市	95.0	12	93	31	0.0	28	990	40	2,145	45	352,781	69	5,113	17
13	ふじみ野市	94.8	13	2,360	15	0.7	16	998	39	1,933	50	114,701	11	10,427	1
14	さいたま市	94.3	14	1,043	23	0.0	28	1,364	12	3,289	4	1,345,476	403	3,339	39
15	志木市	94.0	15	0	33	0.0	28	1,309	19	2,288	37	76,555	11	6,960	4
16	川島町	93.8	16	0	33	0.0	28	756	54	1,966	49	18,773	6	3,129	43
17	吉川市	93.7	17	22,976	3	6.7	3	1,045	36	2,475	30	72,573	12	6,048	10
18	杉戸町	93.4	18	0	33	0.0	28	1,375	11	2,805	19	43,837	11	3,985	31
19	寄居町	93.4	19	7,346	8	3.3	6	1,281	20	2,986	12	31,731	14	2,267	47
20	朝霞市	93.4	20	0	33	0.0	28	1,155	30	2,255	39	145,531	29	5,018	19
21	戸田市	93.3	21	0	33	0.0	28	869	49	1,749	55	141,988	22	6,454	7
22	嵐山町	93.3	22	0	33	0.0	28	962	45	1,897	53	17,487	8	2,186	49
23	八潮市	93.2	23	3,979	12	1.0	13	1,100	33	2,530	27	93,086	29	3,210	41
24	上尾市	93.0	24	265	28	0.0	28	1,320	15	2,970	14	229,317	49	4,680	29
25	久喜市	92.9	25	0	33	0.0	28	1,661	4	2,981	13	150,678	30	5,023	18
26	毛呂山町	92.7	26	16,850	4	8.3	1	1,251	23	2,593	24	32,156	11	2,923	45
27	桶川北本企業団	92.4	27	12,090	6	2.7	9	1,353	13	3,223	5	139,266	42	3,316	40
28	坂戸・鶴ヶ島企業団	92.3	28	556	26	0.1	22	1,430	9	2,508	28	168,778	54	3,126	44
29	滑川町	92.0	29	0	33	0.0	28	880	48	2,310	36	19,636	5	3,927	33
30	鴻巣市	91.8	30	2,213	16	0.4	21	1,408	10	3,058	10	117,505	18	6,528	6
31	狭山市	91.5	31	0	33	0.0	28	990	40	2,255	39	147,414	24	6,142	9
32	川口市	90.5	32	1,990	17	0.1	22	1,111	32	2,849	17	607,276	106	5,729	12
33	日高市	90.4	33	0	33	0.0	28	1,210	24	2,200	43	54,298	17	3,194	42
34	白岡市	89.9	34	11,484	7	4.1	5	1,463	7	2,783	21	52,410	10	5,241	16
35	東松山市	89.9	35	188	30	0.1	22	825	50	1,925	51	90,837	23	3,949	32
36	春日部市	89.8	36	1,075	22	0.1	22	1,199	28	2,684	22	230,320	36	6,398	8
37	宮代町	89.5	37	1,264	20	0.8	15	1,463	7	3,003	11	33,334	5	6,667	5
38	美里町	88.5	38	771	24	0.6	17	1,280	21	2,567	25	10,746	5	2,149	50
39	本庄市	88.1	39	0	33	0.0	28	748	55	1,903	52	77,325	16	4,833	24
40	幸手市	87.3	40	1,502	19	0.6	17	1,210	24	2,640	23	48,896	13	3,761	35
41	熊谷市	87.0	41	258	29	0.0	28	1,320	15	3,135	8	187,112	34	5,503	13
42	鳩山町	86.3	42	0	33	0.0	28	968	44	2,288	37	12,899	7	1,843	53
43	行田市	85.9	43	0	33	0.0	28	1,474	6	3,069	9	75,501	13	5,808	11
44	吉見町	85.8	44	4,809	10	3.0	8	1,045	36	2,365	35	17,759	8	2,220	48
45	加須市	85.6	45	52,780	1	6.1	4	1,540	5	2,860	16	112,010	13	8,616	2
46	羽生市	85.1	46	2,807	13	0.9	14	1,100	33	2,420	33	53,745	11	4,886	23
47	飯能市	85.1	47	470	27	0.1	22	1,210	24	2,255	39	77,611	21	3,696	37
48	小川町	84.3	48	4,501	11	2.1	10	1,166	29	2,486	29	27,515	13	2,117	51
49	蓮田市	84.1	49	0	33	0.0	28	1,336	14	3,206	6	61,179	13	4,706	26
50	秩父広域市町村圏組合	83.2	50	35,681	2	3.1	7	1,848	2	3,388	3	89,633	43	2,084	52
51	神川町	83.2	51	12,739	5	8.0	2	1,320	15	3,190	7	12,698	5	2,540	46
52	上里町	83.1	52	1,146	21	0.5	20	1,254	22	2,541	26	30,439	8	3,805	34
53	深谷市	82.0	53	0	33	0.0	28	1,210	24	2,838	18	139,028	28	4,965	22
54	ときがわ町	80.0	54	631	25	0.6	17	1,947	1	4,147	1	10,045	6	1,674	54
55	越生町	70.9	55	2,655	14	1.9	11	1,705	3	3,465	2	10,778	9	1,198	55
県内平均		90.5	-	3,920.3		1.0	-	1,188	-	2,586	-	133,724	31	4,458	-

凡例		類似団体（給水人口：10万人以上15万人未満）
		近隣自治体

■水道料金

基本料金 (1箇月当り)	メーター 口径	H25	H26～ R元※	R元 10/1～	水量料金 (1m ³ 当り)	水量	H25	H26～ R元※	R元 10/1～
	13mm	420	432	440		10m ³ まで	105	108	110
	20mm	580	596	607		11～20m ³	126	129	132
	25mm	1,150	1,182	1,204		21～30m ³	158	162	165
	30mm	1,710	1,758	1,790		31～50m ³	189	194	198
	40mm	3,020	3,106	3,163		51～100m ³	231	237	242
	50mm	5,200	5,348	5,447		101m ³ から	284	292	298
	75mm	11,480	11,808	12,027					
	100mm	20,720	21,312	21,707					
	150mm	48,440	49,824	50,747					

※H26～R元・・・平成26年4月1日～令和元年9月30日

■加入分担金

加入分担金 (1給水装置 につき)	メーター 口径	H25	H26～ R元※	R元 10/1～
	13mm	189,000	194,400	198,000
	20mm	304,500	313,200	319,000
	25mm	535,500	550,800	561,000
	30mm	987,000	1,015,200	1,034,000
	40mm	2,121,000	2,181,600	2,222,000
	50mm	3,622,500	3,726,000	3,795,000
	75mm	9,765,000	10,044,000	10,230,000
	100mm	20,002,500	20,574,000	20,955,000
	150mm	30,555,000	31,428,000	32,010,000

※H26～R元・・・平成26年4月1日～令和元年9月30日